

静岡県立大学 産学官連携推進本部長／副学長 小林 裕和



世は持続可能な社会を欲し、日本は超高齢化に直面している。派生する社会の諸問題に本学の研究シーズは応え得るものと考えられる。本学は、薬学、食品栄養（環境）科学、国際関係学、経営情報学、看護学の5分野の学部・大学院および附置センターを有する。薬食を統合した健康長寿科学の構築は、2002年度から10年に渡り、文部科学省「21世紀COEプログラム」および「グローバルCOEプログラム」の支援を受けた。その結果本学は、関連分野の原著論文被引用件数において全国1位の評価を受けるに至っている（「大学ランキング2013」および「大学ランキング2014」、朝日新聞出版）。また、文部科学省科学研究費補助金の2014年および2015年研究分野別ランキングにおいて、本学は「食生活学分野」および「環境・衛生系薬学」において1位を獲得している。上記5分野は、互いに相補的であり、大学の技術を産業に、また国際的に、さらに高齢化社会のニーズをも含め、社会に貢献しうるシーズとなり得る。本学教員による研究がシーズとして役立つかは、本冊子を手に取られた方々の目利きにかかるといえる。この冊子が、ニーズとシーズのマッチングに役立つことを切に願う。